

検体採取体制の拡充について

■ 今後の拡充目標

※ () 内は5/20新型コロナウイルス感染症対策協議会時点 (870検体) からの拡充数。

協議会時点 (5/20)

7月中旬 (7/20)

8月初旬 (拡充後)

目標

約870検体

約 1, 8 0 0 検体
(+ 9 3 0 検体)

約 2, 3 0 0 検体
(+ 1, 4 3 0 検体)

約 2, 5 0 0 検体

- 大阪市内の検体採取特化型地域外来・検査Cを拡充 : 計 194人 ⇒ **500人**

検査場	7/20	拡充後 (最大)	備考
ミナミ臨時検査場	90人	180人	7/16~新規設置・7/28~拡充 (+90人)
大阪市北部	16人	66人	7/22~拡充 (+50人)
大阪市東部	16人	56人	7/22~拡充 (+40人)
大阪市南部	30人	90人	7/22~拡充 (+60人)
大阪市南部	42人	42人	8月~受診調整機能付地外Cに移行
大阪市西部	-	66人	7/22~新規設置
計	194人	500人	

- 保健所を介さない受診調整機能付地域外来・検査Cを設置 : 9か所合意 (約200人/日) ※ 8月初旬スタート

区分	検体採取機関	キャパ	取り組み
保健所が 受検調整	帰国者・接触者外来等	約650	
	検体採取特化型地域外来・検査C	約700	ミナミ検査場の設置や既設枠の拡充
保健所を 経由しない	受診調整機能付地域外来・検査C	約200	各保健所1か所以上の設置を目指し今後拡充
	医療機関 (保険適用)	約750	機器整備補助等で自院検査を拡充
合計		約2,300	